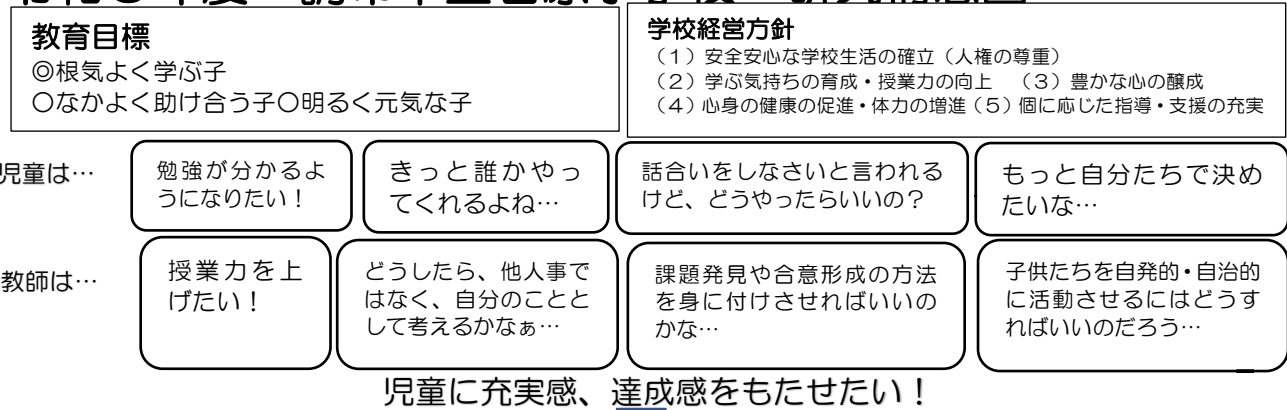


# 令和3年度 調布市立石原小学校 研究構想図



## 研究の仮説

児童が課題発見や合意形成の方法を知り、課題解決に向けて話し合い、実践することで充実感や達成感をもつだろう。その充実感や達成感が所属意識を高め、次の課題発見や課題解決に向けた意欲へとつながるだろう。

## 研究主題

**自らすすんで活動し、生き生きと学校生活を送る児童の育成**  
 ~ねらいを明確にした学級活動(1)の指導を通して~

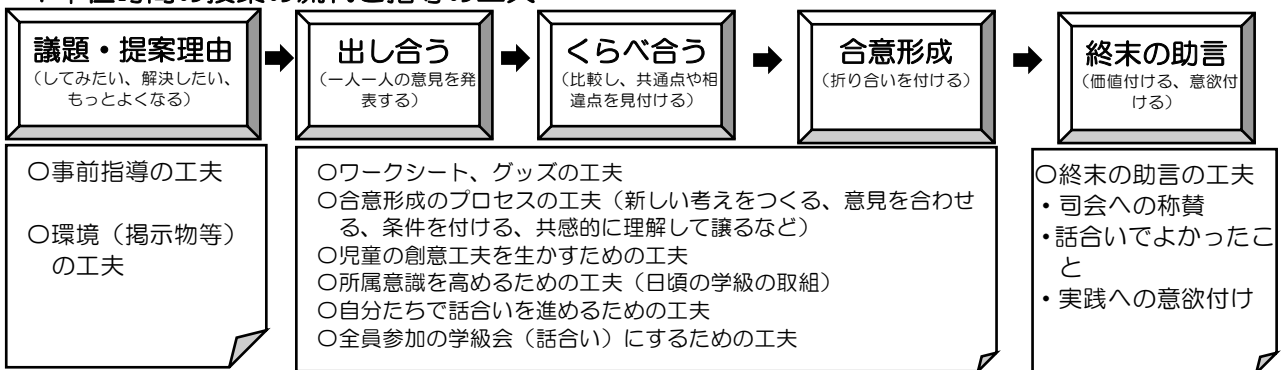
## 学級会における具体的な姿

**学級のことを考え、自分の意見を表現し、みんなで決めたことを実践する児童**

## 学級活動(1)で育成する資質・能力

- (1) 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- (2) 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

## 1 単位時間の授業の流れと指導の工夫



## 発達の段階に即した指導の重点

**低：**話し合いの約束に沿って友達の意見を聞いたり、自分の意見を言えるようにしたりして、合意形成して決めたことをみんなで実践することのよさを実感できるようにする。話し合いで決まったことをすぐに実践することで、合意形成の意義を体感させる。

**中：**学級会において提案理由を踏まえ、自分もよくみんなもよいものとなるよう合意形成を図り、決まったことをみんなで協力し実践できるようにする。さらに、自分の考えと異なる意見に決まっても、気持ちよく協力することの大切さについて実践を通して理解できるようにする。

**高：**出された意見を基にして、組み合わせたり、よいところを取り入れて新たな考えを生み出したりするなど、創意工夫を生かして合意形成を図ることができるようにする。一連の活動を振り返り、次の活動に生かしていくことを意識した取組にする。